

第17回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团報告書 团长挨拶

2015年11月24日から12月1日にかけて、第17回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团一行40名は、日本において8日間の訪問を行いました。我々代表团は中国日本商会ならびに日中経済協会のご協力、そして各企業や学校など関係各位のご支援の下、日本において有意義な8日間を過ごし、今回の訪問を成功裏に終えることができました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

今回の代表团は北京大学、北京師範大学、北京理工大学、北京外国語大学、中央音楽学院そして中央財経大学の優秀な学生により組織されています。訪日期間中、代表团は日本航空、オムロン、電源開発、三井住友銀行、住友商事、ホテルニューオータニの6企業を訪問、また同志社大学の同世代の学生と交流をし、法政大学では著名な教授の講演を拝聴する機会を得ました。そして金閣寺や熱海温泉等では日本の伝統文化と自然景観を体験し、嵐山や松本楼では中国の偉人の足跡を辿り、中華人民共和国駐日本国大使館では中日関係の歴史と現状を学び、さらには日本の一般家庭を舞台に貴重なホームステイ体験をいたしました。団員らは充実したこの8日間において、細かな観察を通して様々な角度から日本を理解し、また日本の多くの人々と深い友情を育み、さらには中国の若者の友好的な姿を日本の人々に示すことができました。

中日両国は一衣帯水の間柄であり、地理的にも近く、文化にも共通点があります。両国は、和すれば双方に利益をもたらし、争えば双方の利益を損なうことは、これまでの歴史が幾度も証明しています。国の交わりは民の親しさにあります。中日の友好関係の発展には、両国の人々特に若い世代の理解と積極的な関わりが求められます。中日両国の若者らが手を携え、共に学び進歩することで、中日友好交流における架け橋となり、両国の発展に貢献していくことを心から願っております。また中日友好協会としましても、日本の各界の皆様と共に両国の民間および草の根交流をより活発化し、両国の人々の相互理解と友情を促進するなど、中日関係のさらなる発展に向けた努力をまいります。

最後に、今回の代表团の訪日に際し多大なご支援を頂いた中国日本商会ならびに日中経済協会、そして関係者の皆様に、改めまして感謝申し上げます。

第17回「走近日企・感受日本」中国大学生訪日代表团 团长
中日友好協会政治交流部部长
張孝萍